

## 会 議 議 事 録

1 会議名	長岡市特別職報酬等審議会
2 開催日時	令和4年1月31日(月) 午後1時30分～午後2時30分
3 開催場所	長岡市役所 アオーレ長岡東棟4階 第二応接室
4 出席者名	【委員】大塚委員、大原委員、草間委員、三浦委員 村山委員、矢島委員、山本委員、渡辺委員 【事務局】近藤総務部長、斎藤人事課長、渡邊人事課長補佐、 吉本人事係長、渡辺主査
5 欠席者名	なし
6 議題	議会の議員の議員報酬の額並びに市長、副市長、教育長及び常勤の監査委員の給料の額並びに市長、副市長、教育長及び常勤の監査委員の退職手当の額について
7 審議結果の概要	議会の議員の議員報酬の額並びに市長、副市長、教育長及び常勤の監査委員の給料の額並びに市長、副市長、教育長及び常勤の監査委員の退職手当の額については、市内の経済情勢が新型コロナウイルス感染症の影響により先行き不透明な状況であること、また、同規模の特例市及び県内他市において大きな改定の動きがないことなどから、現行の額に据え置くことが適当と答申した。

8 審議の内容	
市長	【市長あいさつ】
事務局	【委員の紹介】
	【委員互選による会長選出】
会長	【職務代理者の選任】
会長	【審議の進め方の説明】
会長	それでは、事務局から資料の説明をお願いします。
事務局	(配付資料について説明)
会長	事務局の説明に対して、質疑がありましたらお願いします。
委員	19ページ、特例市は期末手当0.15引下げとしている団体が多い一方、20ページ、県内においては期末手当の引下げは少ないようですが、違いについて教えてください。
事務局	「期末手当の支給月数」については、特別職報酬等審議会の審議項目としている団体と、していない団体に分かれます。新潟市と新発田市は、審議項目としているため、資料に審議結果を記載しています。審議項目としていない県内他団体についても、人事院勧告等を踏まえて概ね同様に引下げの対応をしています。
会長	ほかにいかがでしょうか。
委員	3ページに掲載されている団体というのは、長岡市の人口に近い団体ということでしょうか。
事務局	3ページに掲載されている団体は、令和3年度の特例市です。人口規模の近い類似団体です。

会長	ほかにいかがでしょうか。
委員	特別職と一般職の部長級では、どちらの方が月額が高いですか。
事務局	特別職と一般職の報酬月額等の比較については、資料24ページに記載しています。
会長	ほかにありますか。
委員	平成27年に議員定数が削減されて報酬額を見直した経緯があるとの説明がありましたが、今後も議員定数の見直しがあれば同様に見直しを行うのでしょうか。
事務局	状況を踏まえて検討し、委員の皆様にお諮りすることになります。
会長	続いて意見交換に移りたいと思います。 委員から諮問に対するご意見をお願いします。
委員	市内の景況については、コロナ禍の影響で引き続き厳しい状況ではありますが、業種によっては持ち直しの動きも見られます。 具体的には、生産と輸出は回復基調にあります。個人消費と設備投資は持ち直しの状況。公共投資は減少。雇用と所得環境は弱含みで推移しています。 業種別で申し上げますと、食品関係は製造・販売ともに大変好調です。化学、電子部品、電気機械は増加傾向。工作機械も回復基調にあります。一方、繊維関係、飲食、観光、バス・タクシーなどは極めて低調な状況です。 以上を総括しますと、全体としては回復局面にありますが、急回復している業種と、落ち込みが拡大している業種の二極化となっており、いわゆるK字回復の状態であります。 諮問に対する意見としては、据置が妥当だと思います。
委員	同規模団体及び県内自治体における長岡市の順位に大きな変動が認められない。また、景気状況も決して明るいわけでもないということですので、いずれの項目についても据置が妥当ではないかと思えます。

委員	<p>景気とは別に長岡市の税収の伸びなども含めて考える必要があると思います。背伸びした報酬等になっていないか目配せしていきたいと思っています。税収も大きく伸びていないと思いますので、据置が妥当だと思います。</p>
委員	<p>据置が妥当だと思います。</p> <p>今、国は賃上げを進めています。今後、一般職の給料が上がっていくようになれば、特別職も上げることを考えていく必要があるのではないかと思います。</p>
委員	<p>据置が妥当だと思います。</p> <p>市長・副市長に関しては、コロナ禍で大変ご苦労されていると思います。去年、多くのイベントが中止となったなかで、市民から期待されている面もあると思います。感染が収束することが前提ですが、今年はいろんなイベントの実施、それから経済対策などにもしっかり取り組んでいただきたいと思っています。</p>
委員	<p>据置が妥当だと思います。</p> <p>世の中が賃上げに向かっている中で、これから春闘が始まりますが、賃上げの対象というのは、あくまで正規・非正規の一般労働者の賃金の底上げだと私は理解していますので、特別職は全く別に議論する必要があると考えています。</p> <p>コロナ禍で世の中が疲弊している今、特別職の報酬等を引き上げるという選択はないと考えています。</p>
委員	<p>特別職の報酬等については、絶対的な基準が無いので、相対的に考えていくしかないと思いました。</p> <p>今、コロナ禍で、市長たちは多忙を極めていると思います。イベントが中止になったからといって仕事量が減るわけではなく、中止するための対応が必要になってきます。大変な状況だとは思いますが、他団体との均衡を考える中で、引上げの選択は市民の理解を得られないと思いますので、据置が妥当だと思います。</p>
会長	<p>全ての委員から据置が妥当というご意見をいただきました。</p> <p>やはり、他団体の動向や、経済情勢ということ considering、1任期の総収入という考え方で他団体との均衡を図ることが必要ではないか</p>

会長	<p>と思います。</p> <p>ほかの団体は、ほとんど改定の動きが無いという状況ですし、皆様のご意見を勘案しましても、来年度の特別職の報酬等は据置が妥当だと判断したいと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、来年度の特別職の報酬等については、据置ということで決定し、市長へ答申したいと思います。</p>
事務局	<p>【答申文作成】</p>
会長	<p>【市長へ答申】</p>
	<p>答申後終了</p>